

## 【第1号議案】

### 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

#### 法人の事業概要

医療を取り巻く環境は、年々厳しい状況が続き、特に医師不足は深刻な問題となっていることから、千葉県では、従来の医師確保対策をより強化し、医師の養成及び確保に関する支援を柔軟に行うため、平成20年度に「千葉医師研修支援ネットワーク（DCS-NET）」を開設し、この事業を円滑に推進するために、運営・管理を委託する機関として、千葉県、千葉大学医学部附属病院、千葉県医師会が協力し、平成20年2月15日に【特定非営利活動法人千葉医師研修支援ネットワーク（略称：NPO法人千葉医師研修支援ネットワーク）】が設立された。

当法人は、医学生、研修医、医師及び看護師などの多様なニーズに応えられるような研修の場を提供・支援するために、

1. 専門医の養成及び確保事業
2. 臨床研修医の養成及び確保事業
3. 病院職員等の能力開発事業
4. 地方公共団体、病院等の調査研究に関する事業
5. 病院職員等の確保を図るための無料職業紹介に関する事業

などの各種の事業を展開し、成果を挙げてきたところである。

#### 令和4年度事業実績報告

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行状況に鑑みハイブリット（京成ホテル ミラマーレ会場及びZoom）として開催した。

##### 1. 通常総会の開催 令和4年6月29日

- 議案
- 1 令和3年度事業報告について
  - 2 令和3年度収支決算について
  - 3 令和4年度事業計画について
  - 4 令和4年度収支予算について
  - 5 役員を選任について

##### 2. 理事会の開催

(1) 令和4年6月29日

- 議案
- 1 令和3年度事業報告について
  - 2 令和3年度収支決算について
  - 3 令和4年度事業計画について
  - 4 令和4年度収支予算について
  - 5 役員を選任について

(2) 令和5年3月17日

- 議案 1 令和4年度事業報告(経過)について  
令和4年度収支補正予算について  
2 令和5年度事業計画について  
3 令和5年度収支予算について

### 3. 監査会の開催

令和4年6月2日及び6月10日に監事2名により、それぞれ監査が実施された。

- 1 令和3年度事業報告について
- 2 令和3年度の会計処理について

監査の結果は、「令和4年度は、COVID-19の影響も軽減すると考えられ、ハンズオンセミナーを始めとするリアルな場での事業展開も必要性が高まると想定されることから、実効性のある業務執行をより求めます。」との意見があった。

### 4. 運営委員会の開催

運営委員会を開催し、法人の活動などについて9回協議を行った。

4月27日、6月14日、7月19日、8月24日、9月21日、11月18日、12月6日、2月2日、3月14日

主な議題は、臨床研修の定員、専門研修と専攻医の確保(特に総合診療について)等の検討を行った。

### 5. 利用会員等の加入促進

利用会員、ふるさと医師会員、登録医師・登録研修医への医学生・研修医・医師等の加入推進を図るためパンフレットを作成し関係機関を経由し、また、ホームページの充実による広報を行い、さらに各種セミナー等開催の都度積極的な勧誘を行うなど広報を行うとともに、各種助成やセミナーの特典の付与等を行った。

#### (1) 利用会員

**2,772人**

(令和4年4月1日～令和5年3月31日までの新規登録者数：361人)

(内訳) 医学生：608人(千葉県出身者131人、県外出身者477人)

初期臨床研修医：535人(1年目268人、2年目267人)

専攻医：576人

医師：1,053人

#### (2) ふるさと医師会員

**555人**

(令和4年4月1日～令和5年3月31日までの新規登録者数：61人)

医学生：267人

初期臨床研修医：102人

専攻医：127人

医師：59人

(3) 医師・研修医登録会員

**589人**

(令和4年4月1日～令和5年3月31日までの登録者数：13人)

(内訳) 初期臨床研修医：34人

専攻医：182人

医師：373人

6. 正会員及び賛助会員の加入促進

法人の運営及び活動を強化するためには、正会員及び賛助会員の加入が必要不可欠であることから、県内病院への加入案内、各団体への加入依頼などを行った。

(1) 正会員 **79** 会員 (67 病院、12 診療所)

(2) 賛助会員 **8** 団体

7. ホームページの利用状況 [令和4年4月1日～令和5年3月31日]

(1) 千葉医師研修支援ネットワーク

**68,835** 件 (71,320 件)

(2) キャリアアップ就職支援センター (上記(1)の内数)

**63,909** 件 (65,968 件)

(3) 千葉県地域医療支援センター

**1,703** 件 (1,900 件)

(4) 千葉県ドクターバンク

**520** 件 (353 件)

(5) 千葉県シルバードクターバンク

**266** 件 (197 件)

(6) 女性医師等就業支援相談窓口

**342** 件 (274 件)

( )内は、前年度の件数

8. 重点事業実績について [令和4年4月1日～令和5年3月31日]

(1) 臨床研修医養成確保事業

① 病院見学サポートの運用

初期研修医及び後期研修医の千葉県内病院への確保を図るため、県内病院の見学を希望する医学生や研修医に対し、見学に係る病院へのアポイントや見学時の交通費助成などのサポートを行った。

見学利用者数は、昨年実績に比べ62名増加となっている。

見学利用者 延べ961名(899名) 見学先病院数 42病院(41病院)

・県内大学生 189名(200名)、県外大学生 715名(673名)

・医師、研修医 57名(26名)

・千葉県出身 508名(536名)、県外出身・国外 453名(363名)

※( )内は、前年度の件数

\*過去最高の人数

## ② 臨床研修ガイドブック

千葉県臨床研修ガイドブック 2022 を希望する医学生等に配布した。  
(211 件)

## (2) 専門医養成確保事業

医師・研修医等対象の研修会、研究会、技術向上研修会等を積極的に支援し、共催・後援事業として実施した。

### ① 第 17 回千葉県臨床研修指導医養成講習会の開催 (11 月 19 日、20 日)

受講者 32 名

### ② 病院見学バスツアー 2022 (12 月 17 日)

千葉県地域医療支援センターの事業の一環として主に修学資金を受給している医学生・医師を対象に地域病院の実際や魅力などを発見するためのバスツアーを開催した。

訪問先病院は、いすみ医療センター、塩田病院、亀田総合病院の 3 病院  
参加者 20 名

### ③ ちば地域医療魅力発見セミナー (1 月 29 日)

千葉県地域医療支援センターの事業の一環として主に修学資金を受給している医学生・医師を対象に地域医療の魅力などについての講演行い地域医療への理解を深めるとともに、さらに、交流会を通じて相互理解を深めて県内就業への促進を図る

会場：ペリエホール

参加者：対面 9 名 オンライン 24 名

- 講演  
フライトドクターの日常 (原 義明 日本医科大学千葉北総病院)
- 報告  
千葉県病院見学バスツアー (山内 かづ代 千葉大学地域医療教育学)
- 地域の病院に勤務する若手指導医によるパネルディスカッション  
座長 伊藤 彰一 (千葉大学医学教育学)  
演者 勝山 陽太 (山武市国保さんぶの森診療所)  
曾我井 大地 (地方独立行政法人さんむ医療センター)
- 医師修学資金受給者によるパネルディスカッション  
座長 吉村 健佑 (千葉大学病院)  
演者 和泉 未知子 (千葉大学病院 内科専門医)  
尾崎 尚人 (季美の森リハビリテーション病院 専門医)  
佐藤 祐太郎 (東千葉メディカルセンター外科専攻医)
- 診断推論戦略を学ぼう  
鋪野 紀好 (千葉大学地域医療教育学)  
勝山 陽太 / 曾我井 大地

- 医師のキャリアに関する意見交換会  
ファシリテーター 齊藤 景子 (千葉大学病院)  
山内 かづ代/和泉 未知子

④ **第7回 Chiba Clinical Skills Boot Camp (12月4日)**

会場：ペリエホール

参加者：初期臨床研修医 31名 シンポジウム視聴者 25名  
(前年はオンライン開催で視聴者 140名)

県内臨床研修病院の初期研修医のキャリアアップおよび交流を目的として開催、4セッションで基本的診療技術についてレクチャーが行われた。

- 意識障害患者で大切な Hi-Phy-Vi  
坂本 壮/中村 聡志/武井 沙也加 (旭中央病院)
- 明日から実践できる眼底診察  
鋪野 紀好/田村 弘樹 (千葉大学病院)  
鈴木 慎吾 (千葉中央メディカルセンター)
- 聴診で鑑別する呼吸不全  
江原 淳 (東京ベイ・浦安市川医療センター)
- 子どもの異物誤嚥  
高橋 盛仁/中村 裕太 (亀田総合病院)

4名の指導医が研修医に対して、ハンズオンでの多面的なレクチャーを実施し研鑽を図った。

その後、生坂政臣先生 (千葉大学医学部附属病院) を座長として、4つのセッションを担当した先生方をパネリストとして、シンポジウムを実施した。具体的には、参加者から事前に集めた質問項目について、それぞれの専門的な立場又経験に基づく、示唆深い回答があった。

アンケート結果 (別添参照)

⑤ **第5回 周産期・新生児スプリングフェスティバル (3月12日)**

会場：ポートプラザちば

参加者：新6年生 19名

**第1部** 「母体急変時の初期対応：京都プロトコール2020」を中心に、急変への気づき、母体急変対応について、座学やスキル実習、シミュレーションを研修した。

**第2部** 県内の周産期母子医療センターの10病院が参加してランチョン形式でそれぞれPRを実施した。(説明会だけ参加2名)

**第3部** すべての分娩に新生児蘇生法を習得した医療スタッフが新生児の担当者として立ち会うことができる体制を目標とした新生児蘇生法 (NCPR) の研修をした。

\*参加学生にテキストを進呈した。

⑥ 医療技術研修事業等

新型コロナウイルスの流行も軽減したことから、ハンズオンの研修が再開され、セミナーは前年度に比べ19回と増加、新型コロナ前の通常ベースの状況に近づいてきた。

合計回数 19回 受講者 338名

(令和3年度は13回 受講者 219名)

⑦ 総合診療領域セミナー等

専攻医の確保・育成のため、領域ごとに専門領域協議会の立ち上げを目指しているところであるが、先駆的に設立された「総合診療連絡協議会」が本年度の事業として、次の3つのものを実施した。

ア 9月「CVCセミナー」

講師 大網 毅彦 先生 (千葉大学病院救急科)

参加者 医師・研修医 5名

イ 11月「見学大作戦」(各施設PR戦略)

講師 岩間 秀幸 先生 (亀田ファミリークリニック館山)

参加施設 5基幹施設

ウ 1月「研修医と学ぶ領域横断的診療」

講師 上原 孝紀 先生 (千葉大学病院総合診療科)

Web開催で申込者 169名 (聴取者 69名)

それぞれの事業は、いずれも参加者から好評であった。

(3) 受託事業等

① 情報提供・情報収集・相談業務等

a 新・専門医制度への対応

29年度から始まった「新・専門医制度」の基幹・連携病院検索、プログラム検索、1次・2次・追加の各募集状況のリアルタイム情報提供を円滑におこなうため、県からの情報提供を運営委員会の審議・検討を基に、「専門医検索システム」を新たに開発し、29年10月から運用を開始、専攻医を目指す研修医等から好評を得ている。

b 県内の医療機関における臨床研修情報等を法人ホームページ上で閲覧、検索可能となっており、その利活用を通じ、県内病院での研修の促進を図った。

・研修病院への案内…………… 38病院

c 主に県内で開催される医師、医学生を対象とした各種講演会、研修会、医学セミナー等の開催に関する情報の提供

県内の臨床研修病院や千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター等で開催する多くのセミナー、カンファレンス、講演会、研修会等について、医師、研修医、医学生の参加勧誘を図るため、ホームページや各種リーフレットの送付、当法人利用会員等に向けてのSNS等で適時的確な情

報提供を行ったことにより、多くの医師、研修医、医学生等の参加が得られた。

なお、県外開催のセミナー、関係団体の行事や外部ホームページの積極的活用による情報提供にも注力した。

d 県内医療機関、就業に関する情報提供及び医師、医学生対象の支援事業に関する情報提供

ホームページの更なる充実を図り、県内全域の臨床研修病院情報、研修医・各診療科医師募集に係る情報、病院診療科毎に履修できる研修プログラムの閲覧・検索、県内、県外で開催される各種セミナー、数多くの医療技術研修等の開催案内・開催結果情報、病院見学や医師募集の面談・面接のサポート情報等を適時的確に情報発信するとともに、各種リーフレット送付やメール等による情報提供も行った。また、電子メールや電話による各種相談に対する迅速な対応を行った。

e 県内における医師不足状況等の把握及び医師不足病院の支援

千葉県、千葉県医師会、県内医療機関等との密接な連携を行い、県内の医師不足に係る各種情報把握に努めた。

なお、システムの活用や各種イベントの機会を捉えて、県内外の研修医、医師、医学生について、利用会員やふるさと医師会員、医師・研修医登録会員への登録を推進した。この登録情報をもとに本県における地域医療を志向する医師等の把握にも努めた。

また、システムを活用し、県内医療機関の求人情報や研修プログラムを集約、公表し、県内における医師確保の支援を行うとともに、千葉県ドクターバンク事業や利用会員等登録情報をもとに、求職中またはキャリア形成を望む医師等に適切な医療機関への就業斡旋を行った。

f 情報発信と相談への対応

利用会員、ふるさと医師会員、医師・研修医登録会員に登録した医師、医学生や、医療機関等関係機関等へ医師確保対策等に関する多くの情報を適時、的確にホームページやメール、パンフレット、リーフレット等で発信、提供するとともに、キャリア形成等を含め個別の相談に対応した。

また、ホームページ等を活用し、千葉県や県内自治体・団体の医師確保対策、千葉県ドクターバンクによる県内医療機関の求人情報、求職情報等を発信した。

## ② 合同説明会

新型コロナウイルスの影響により、多くの研修病院で見学の中止、再開が繰り返され、民間主催の全国規模の病院説明会も中止や規模縮小などが余儀なくされる中、前年度に引き続きオンラインによるオール千葉の合同説明会を企画・開催した。

### a 「Web ちば臨床研修病院ナビ 夏」

- ・開催日 令和4年5月29日（日）
- ・開催方法 **Zoom**
- ・参加病院 **31病院**（32病院）
- ・参加者・面談者数 **237名・704名**（**363名・1,113名**）

### b 「Web ちば臨床研修病院ナビ 春」

- ・開催日 令和5年3月5日（日）
- ・開催方法 **Zoom**
- ・参加病院 **31病院**（31病院）
- ・参加者・面談者数 **143名・434名**（**210名・733名**）

※（ ）内は、前年度の実績  
※アンケート結果（別添参照）

### c 「民間主催のレジナビ」

全国規模で開催される民間主催説明会において、千葉県ブースを確保し、県内医療機関が出展することにより、多くの医学生、研修医が医療機関と面談した。

#### 1) 「レジナビフェア 2022 東京」

- ・開催日 令和4年6月19日（日）
- ・会場 東京ビッグサイト
- ・出展病院（**9病院**）
- ・面談者数 **359名**（2019年度は16病院 972名）

#### 2) 「レジナビフェア 2022 東京 春」

- ・開催日 令和5年3月19日（日）
- ・会場 東京ビッグサイト
- ・出展病院（**10病院**）
- ・面談者数 **448名**（前年度は4病院 260名）

## ③ システムの開発、維持管理、運用等

各システムのホームページやシステム管理及びメール送受信の的確な運用のため、サーバ賃借・管理運用（ドメイン維持管理、SSL 認証取得を含む）、保守、運用を行った。

### a 対象システム

- ・千葉県医師キャリアアップ就職支援センターシステム
- ・千葉医師研修支援ネットワークシステム



- ・ NPO 法人千葉医師研修支援ネットワークシステム
  - ・ 新専門医研修プログラム等検索システム
  - ・ 千葉県地域医療支援センターシステム
  - ・ 千葉県ドクターバンクシステム  
(千葉県シルバードクターバンクシステム)
  - ・ 女性医師等就業支援相談窓口システム
  - ・ メールアウトソースサービス
- b システムの運用、維持管理の内容
- ・ ホスティング、保守、運用支援
  - ・ Web サイトドメイン取得・維持、SSL 認証取得等
  - ・ メールサービス ドメイン利用、管理

#### ④ 県内医療機関への就職・定着支援（就職支援機能）

- a 無料職業紹介事業（千葉県ドクターバンク・シルバードクターバンク）  
平成 24 年 1 月に厚生労働省の許可を受け開始した無料職業紹介事業（千葉県ドクターバンク）（シルバードクターバンクは、平成 25 年 2 月）については、ホームページ掲載や県内医療機関、全国の医師に対し、積極的な広報を行った結果、数多くの求人、求職情報が登録されるに至っている。

情報の速やかな登録、更新等、システムの日常の保守管理業務を適切に行うとともに、より利用しやすいシステムとするため改良を加えてきたところである。

##### ① 医療機関の登録

登録医療機関	235 件（うち 4 年度新規：19 件）
有効求人件数	65 件（うち 4 年度新規：55 件）
有効求人数	76 名（うち 4 年度新規：68 名）

##### ② 医師（求職者）の登録

6 名（うち 4 年度新規：6 名）

##### ③ 医療機関から医師へのスカウト

4 年度新規：11 名

##### ④ 医師からの応募

4 年度新規：0 名

##### ⑤ 就職（採用）決定

4 年度新規：1 名（外研修医 2 名）

- b 女性医師等就業支援相談窓口

千葉県内医療機関で働きながらの育児や社会復帰を考えている女性医師等をサポートするため、平成 24 年 4 月から当法人に設置し運用を開始した女性医師等就業支援相談窓口事業について、ホームページ開設、リーフレット配布等による積極的な広報を行い、相談事業の充実、円滑な推進を図った。

##### 相談数 7 件

(内訳) 転職相談 3 件 その他 4 件

※ドクターバンク事業については、県医師会とも連携しつつ、日本医師会の女性支援センターを積極的に紹介している。

⑥ **キャリアアップセンターの管理**

千葉県との協定に基づき、千葉大学医学部附属病院内に整備されたセンターの医療従事者の一般利用について、その利用に伴う千葉大学との調整、軽易な設備・機器のメンテナンス、修繕及び必要な消耗品の購入、補充等を行った。

**貸出等利用数 17 件**

⑦ **広報業務(ポスター・リーフレット等の作成・送付)**

当法人の紹介、各種事業、キャリアアップセンター等の周知を図るため、各種のパンフレット、リーフレット等を作成し、医療機関、医師、研修医、医学生等に、関係機関や県内外で開催するセミナー等において配布し広報を行った。

- ① 千葉県臨床研修病院ガイドブック
- ② 千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター案内冊子
- ③ セミナー案内冊子
- ④ 各種セミナー案内リーフレット
- ⑤ 各種法人事業紹介リーフレット